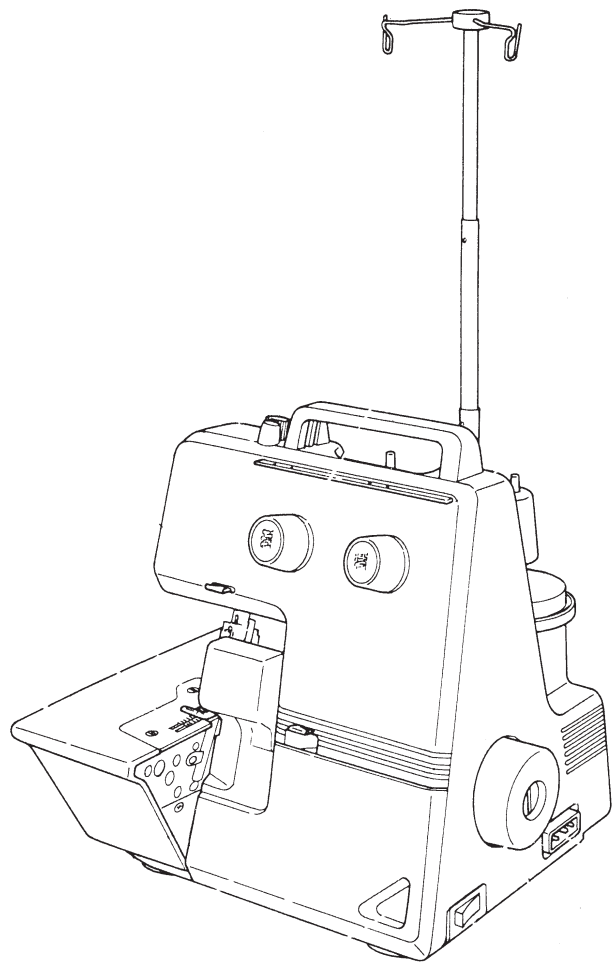


1 本針・2 本糸オーバーロックミシン

# MO-522N

## 取扱説明書



安全にご使用していただくため、ご使用前に必ず  
この取扱説明書をお読みください。  
また、いつでもご覧になれますように保管してください。

この度は、本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。



ご使用になる前に「安全にご使用していただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。

お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。


## 安全にご使用していただくために

この取扱説明書および製品に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

警告表示は以下のように使い分けています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



絵文字の意味は次のとおりです。

	注意すること		感電の危険があります		火災の危険があります		手などへの傷害の危険があります
	してはいけないこと		分解、改造をしないでください		針の下に指を入れないでください		油などを注がないでください
	必ず行うこと		電源プラグをコンセントから抜いてください				

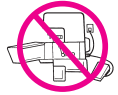
このミシンを正しく安全にご使用していただくために、下記のことがらを必ずお守りください。

このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。

This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.

 <b>警告</b>	感電、火災、故障の原因となります。
<ol style="list-style-type: none"> <li>一般家庭用交流電源 100V の電圧以外では、絶対に使用しないでください。</li> <li>下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ミシンのそばを離れるとき。</li> <li>● ミシンをご使用になったあと。</li> <li>● ミシンのご使用中に停電したとき。</li> <li>● ミシンをお手入れするとき。</li> <li>● ミシンを移動させるとき。</li> <li>● 接触不良・断線などで正常に動作しないとき。</li> <li>● 雷が鳴りはじめたとき。</li> </ul> </li> </ol>	
 <b>注意</b>	感電、火災、けが、故障の原因となります。
<ol style="list-style-type: none"> <li>コントローラーの上に物をのせないでください。</li> </ol>	

2. お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
3. ミシンを操作するときはルーパーカバーなどカバー類を閉じてください。
4. ミシンの縫製中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車（プーリー）、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。
5. 針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。
6. けが、針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引張ったり、押ししたりしないでください。
7. けが、針折れの原因になりますので、まち針を布地に刺したまま縫わないでください。
8. お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全にご使用していただくことをご注意ください。
9. 下記のことを行うときは、電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。
  - 針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。
  - 針糸、ルーパー糸をセットするとき。
  - 取扱説明書に記載のあるコントローラーの取り付け、ミシンのお手入れを行うとき。
10. ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。
11. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは、速やかに使用を停止し、販売店にて点検、修理、調整をお受けください。
  - 正常に作動しないとき。
  - 落下などにより破損したとき。
  - 水に濡れたとき。
  - 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
  - 異常な臭い、音がするとき。
  - 異物が入ったとき。
12. 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
13. 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
14. 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。
15. 電源プラグやコントローラを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。コード部分を引張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
16. 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
17. スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどの原因となります。
18. ミシン本体の換気口をふさがしないでください。換気口は必ず壁から 30 cm 以上離して使用し、換気口やコントローラに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。



19. ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。
20. 針の下に指などを入れないでください。また、作業時、ルーパーなど鋭利な部分には触れないでください。
21. ミシン本体には、取扱説明書に記載されている正規部品をご使用ください。他の部品を使用するとけが・故障の原因となります。
22. ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか、破棄してください。
23. ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落としたりして、けがの原因になります。



## ▲ 警告

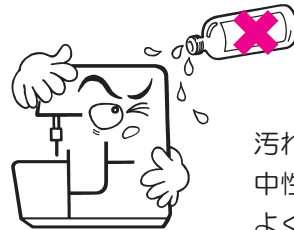
特に、布地と糸と針の組み合わせは、「針の交換」の説明表に従って適切な組み合わせでご使用ください。組み合わせが適切でない場合、特に厚い布地（デニムなど）を細い針（#11 以下）でぬうと針が折れ、思わぬ怪我をする可能性があります。

## その他のご注意

- 直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。



- シナーなどの溶剤でふかないでください。

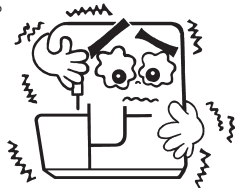


汚れたときは、やわらかい布に中性洗剤を少量つけて、よくふきとってください。

このミシンは半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、下記の状態がおこる場合があります。ご注意ください。

- 5℃～40℃の範囲でお使いください。

温度がいちじるしく低い場合、正常に動かないことがあります。

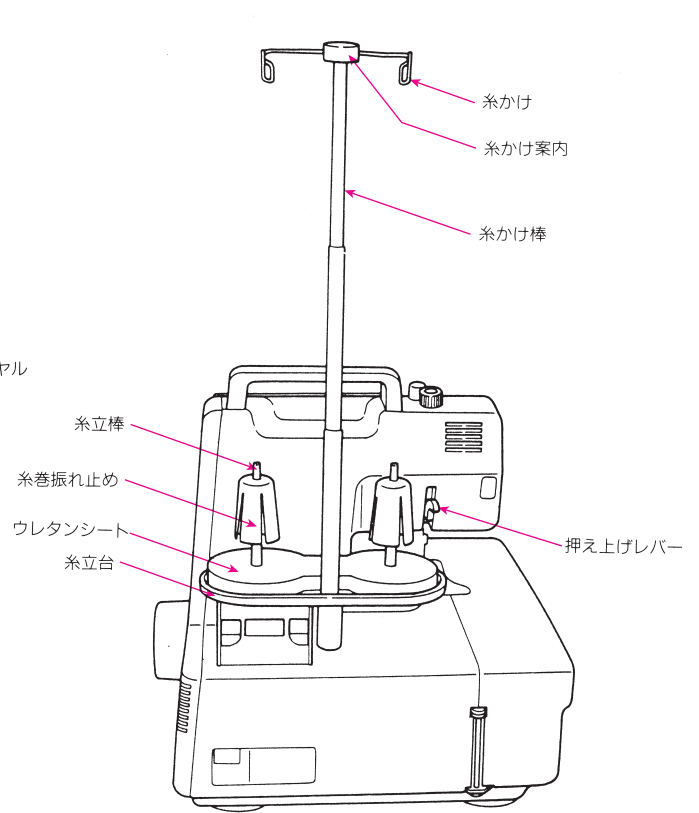
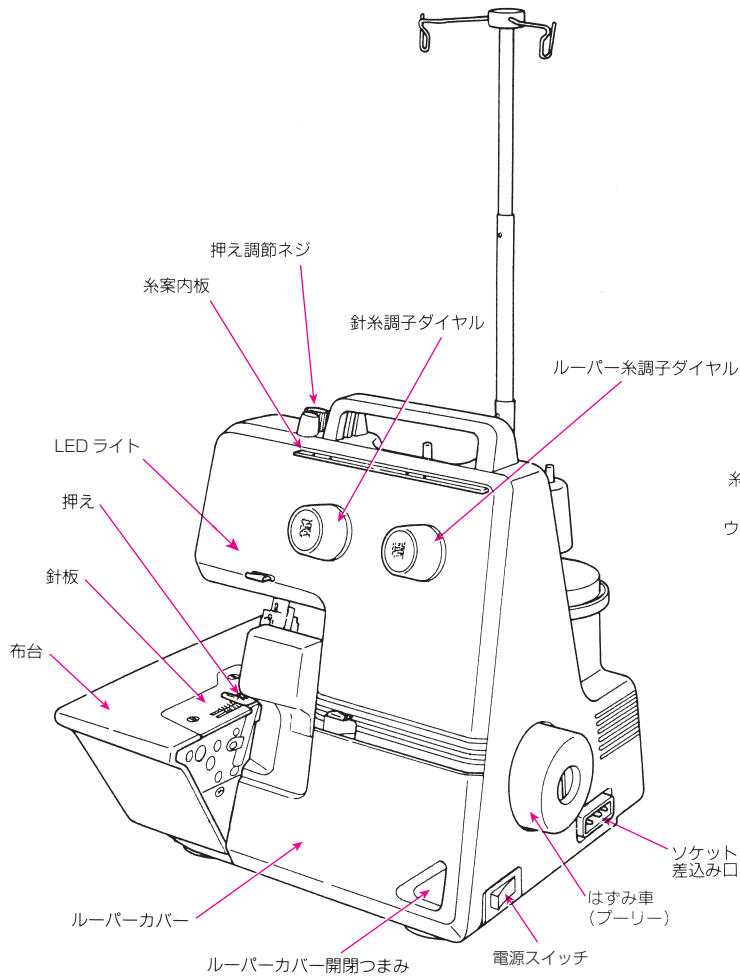


※ミシンの使用温度は5℃～40℃です。直射日光の当たるところや、ストーブ、ろうそくなど火の気のあるものそばや温度の高いところでは使用しないでください。ミシン内部の温度が上がったり、電源コードの皮膜等が溶けて火災・感電の原因となります。

# もくじ

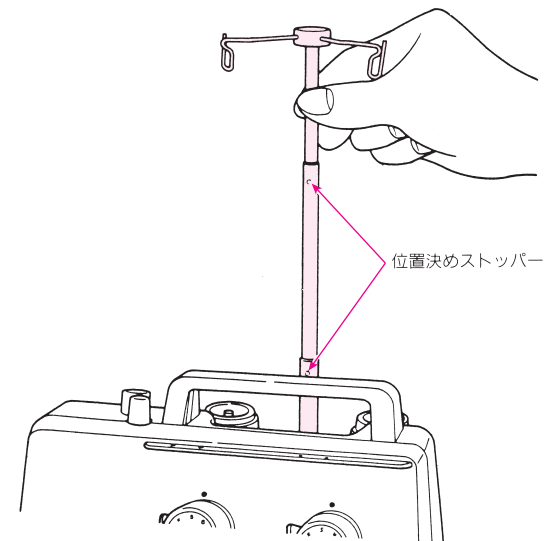
安全にご使用していただくために	1 ~ 3
各部の名称	5
糸立装置の組付け方	5
ロック用糸、大型糸巻き糸、家庭用糸コマの場合	
動かす前の準備	6
コントローラーのとりつけ方、電源スイッチ	
各操作部とはたらき	6
ルーパーカバーの開閉、布台の開閉、 押え上げレバー、押えの交換、針の交換、 送り調節つまみ、上メスの解除、押え調節ネジ	
糸のかけ方	7
ルーパー糸、針糸	
ためし縫い	7
糸調子ダイヤルの合わせ方	7
糸調子の調整方法	7
縫っている途中で糸が切れたとき	7
上メス、下メスの交換	7
針について	7
サービスをお申しつけになる前に	7
付属品・仕様表	7

# 各部の名称



## 糸立装置の組付け方

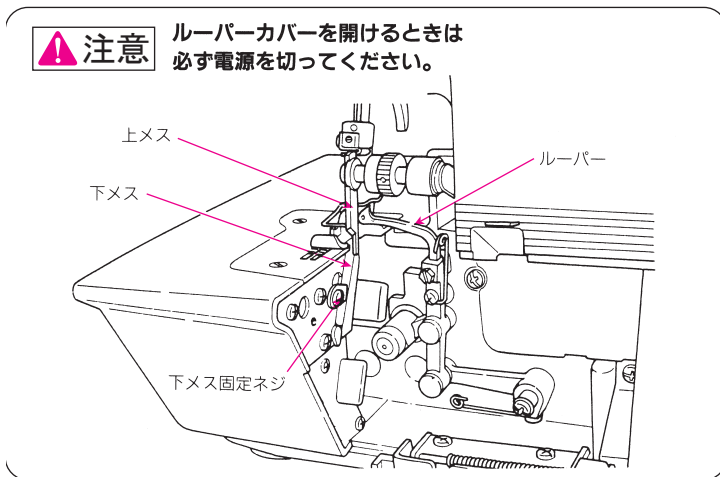
- 糸かけ棒をのばします



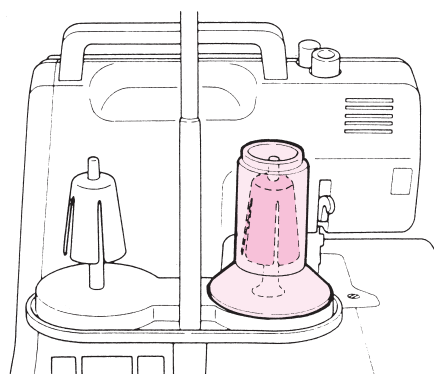
「カチッ」と音がして位置決めストッパーにかみ合うまで回します。

### ■ルーパーカバーを開けたところ

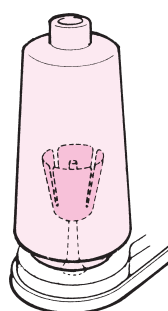
**注意** ルーパーカバーを開けるときは必ず電源を切ってください。



### ■ロック用糸の場合

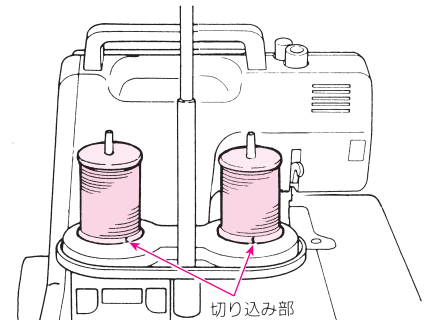


### ■大型糸巻き糸の場合



内径の大きい糸巻き糸は糸巻振れ止めを逆さにします。

### ■家庭用糸ゴマの場合



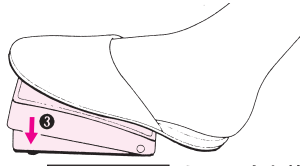
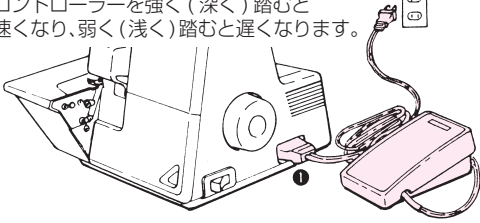
糸巻振れ止めを抜きとり、糸が引っかからないように糸ゴマの切り込み部を下に差し込みます。

# 動かす前の準備・各部の操作とはたらき

## ■コントローラーをとりつけます

**注意** コントローラーのプラグを抜き差しするときは、電源スイッチを切ってください。

- ①コントローラーをソケット差し込み口に差し込みます。
- ②つぎにプラグを室内コンセントに差し込みます。
- ③コントローラーの上に足をのせます。
  - ・コントローラーを強く(深く)踏むと速くなり、弱く(浅く)踏むと遅くなります。

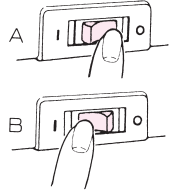


**注意** ミシンをお使いにならないときは下記のことを行ってください。

1. 電源プラグを必ず室内コンセントから、はずしてください。
2. コントローラーの上に物を乗せないでください。

## 電源スイッチの入り・切について

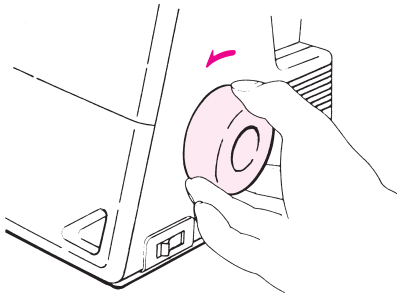
- A. O側を押すと電源が切れます。A
- B. |側を押すと電源が入り、ランプもつきます。B



## ■はずみ車(プリー)について

はずみ車は手前に回します。

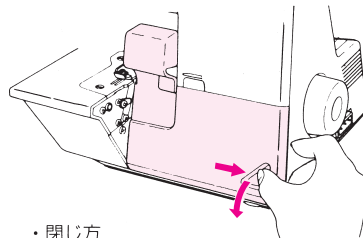
※糸を通したあと、縫い始め、縫い終わりなど、はずみ車を回すときは必ず手前に回してください。



## ■ルーパーカバーの開閉について

**注意** ルーパーカバーを開けるときは必ず電源を切ってください。

- ・開け方  
ルーパーカバー開閉つまみを右側に引いてから手前に倒します。

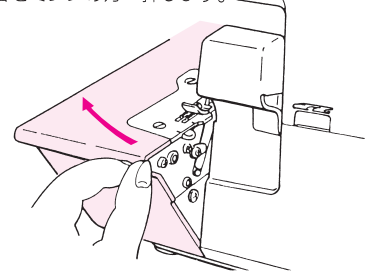


- ・閉じ方  
ルーパーカバーを上にあげ、軽く向こう側に押すと自動的に閉じます。

## ■布台の開閉について

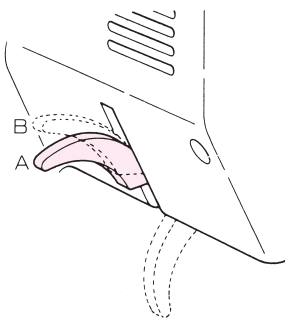
**注意** 布台を開けるときは必ず電源を切ってください。

- ・開け方  
布台の手前を左側に押しますと開きます。
- ・閉じ方  
布台をミシンの方へ押しします。



## ■押え上げレバーについて (押えを上、下させます)

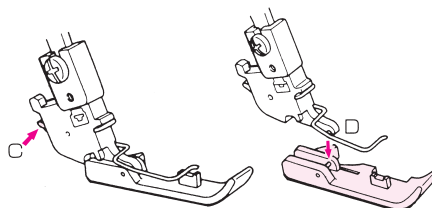
- A. 通常の場合、A位置まで上がります。
- B. 押えの交換や厚布など押えと針板とのすき間を必要とするとき、B位置まで上げます。



## ■押えの交換

**注意** 押えの交換のときは電源を切ってください。

1. 押えを上げます。
2. はずみ車を回し針を一番上まで上げます。
3. C部を押すと押えがはずれます。
4. 押えをとりつけるには押え上げレバーをB位置に上げ、押えのピンをホルダーの溝の下(D)に正しく置き、押え上げレバーを下げれば自動的にセットされます。

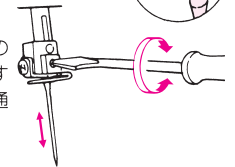


## ■針の交換

**注意** 針の交換のときは電源を切ってください。

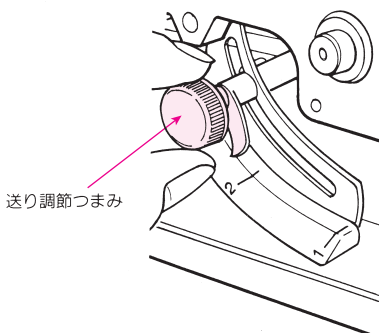
1. はずみ車を回し針位置を一番上まで上げます。
2. ドライバーを使い、針止めネジをゆるめて針ははずします。
3. 針の平らな面を向こう側にして一番奥まで差し込みます。そしてしっかりとネジを締めます。

使用針は家庭用ミシンのHA×1の11番、14番です。11番は標準(薄物、普通物)です。14番は厚物用です。



## ■送り調節つまみ(縫い目の長さ調節)

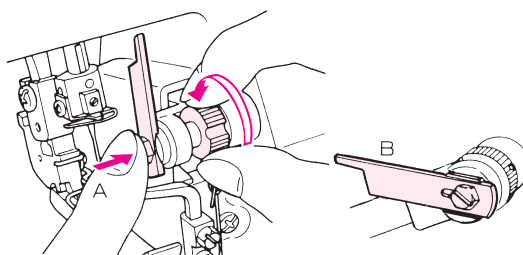
送り調節つまみを回してネジをゆるめ、お好みの位置に合わせてから締めます。目盛の数字が大きくなると縫い目は荒くなります。標準の縁がかり縫いは「2.5」です。



## ■上メスの解除

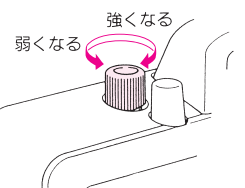
**注意** 上メスの解除のときは電源を切ってください。

1. ルーパーカバーを開けます。
2. A部を右いっぱいまで押します。
3. その状態で中央のつまみを矢印の方向に回します。
4. Bの位置まで回して止めます。



## ■押え調節ネジ

押え圧力の標準位置は押え調節ネジの下端とカバーの上端が一致したところ。特殊な布地以外は標準位置で調節する必要はありません。



標準位置 一致したところ

つまみの傘下部とカバーの上面が一致したところが標準位置です。

# 糸のかけ方・ためし縫い・糸調子の合わせ方

糸のかけ方をまちがえますと縫い目が乱れたり、糸切れすることがありますので正しくかけましょう。  
糸かけ図と色表示がついていますので、下記の手順でかけましょう。

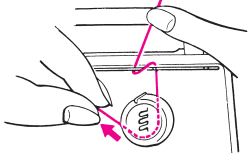
## ■糸かけ順序



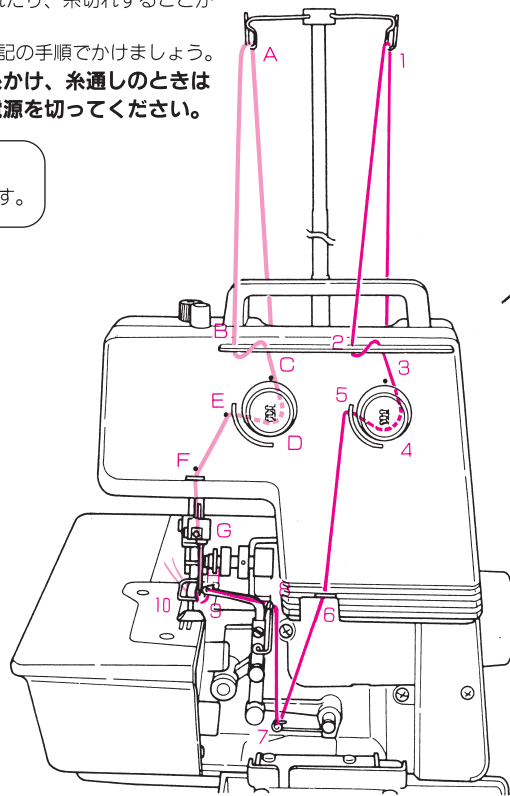
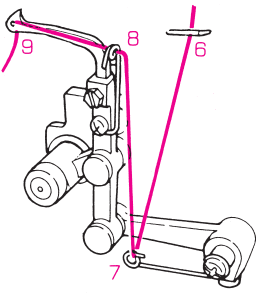
**注意** 糸かけ、糸通しのときは電源を切ってください。

1. 最初にルーバー糸(1~10) (赤色印)
2. 次に針糸[A~H] (青色印) をかけます。

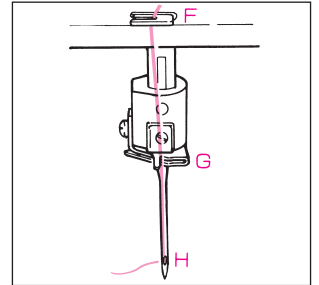
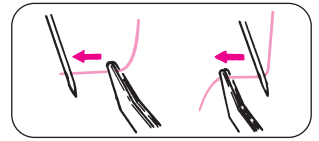
### 糸調子ダイヤルの糸かけ



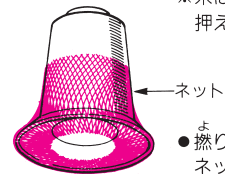
糸を糸調子皿に正しく入れるために両手で軽く糸を引きます。



※各穴に糸を通すとき、付属品のピンセットを使いますと便利です。



※糸は各穴から10cm位引き出し、押えの下にそろえて入れます。



ネット

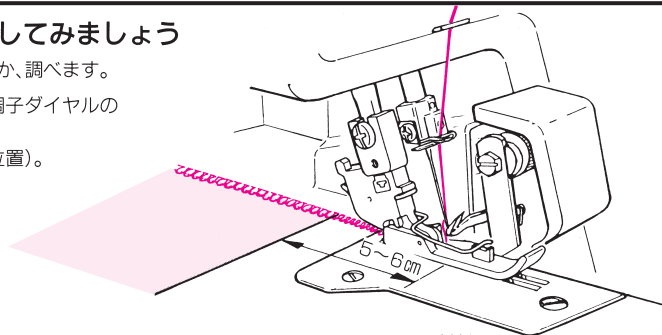
● 擦りの強い糸にはネットをご使用ください

糸のよりが強く糸かけ案内などにからむ場合には付属のネットを糸ゴマにかぶせてお使いください。

## ■糸かけが終わったら、ためし縫いをしてみましょう

1枚の布地を使い、縫い目や糸調子が正しいかどうか、調べます。

1. 針糸調子ダイヤルの目盛を"4"にルーバー糸調子ダイヤルの目盛を"5"に合わせます。
2. 上メスが下がっているかを確認めます (切断位置)。
3. 押えを上げます。
4. 押えの下に布地をおきます。
5. 押えを下げて縫います。
6. 縫い終わったら5~6cm空環を縫います。



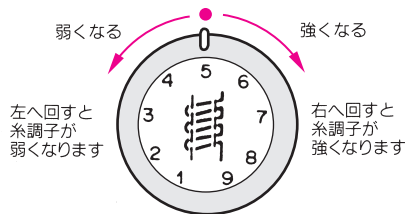
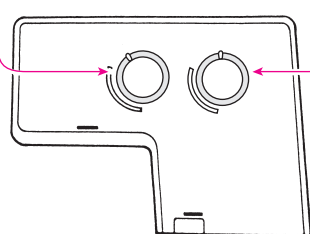
※空環とは：布地がなく、糸の縫い目形状ができたものです。  
※糸調子ダイヤルの目盛は布地や糸の種類により変化します。

## ■糸調子ダイヤルの合わせ方

不完全な縫い目は糸調子ダイヤル目盛(1~9)を調整するだけで修正できます。

針糸調子ダイヤル

ルーバー糸調子ダイヤル



	ダイヤル目盛の目安
ルーバー糸調子ダイヤル	4~6
針糸調子ダイヤル	3~5

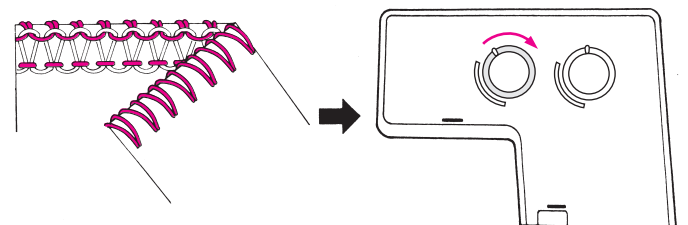
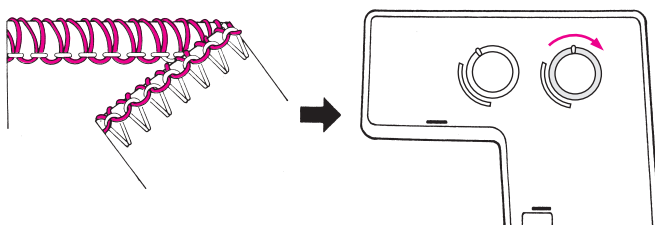
※フィラメント糸やウーリー糸などは変化します。

## ■糸調子の調整の仕方

糸調子ダイヤルは1目盛か半目盛ずつ回し、ためし縫いをしながら調節します。

●ルーバー糸が布地の下に出る場合

●針糸が布地の上に出る場合

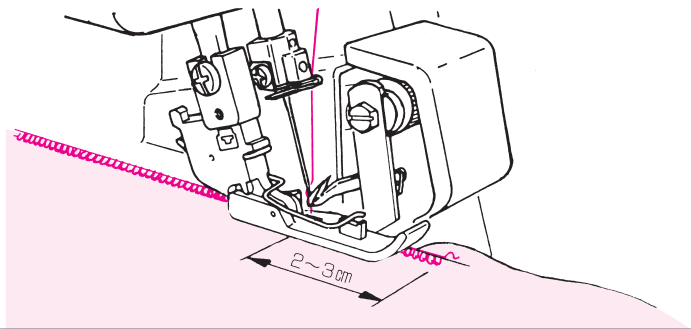




## 途中で糸が切れたとき・上メス、下メス交換・掃除と注油・針について

### ■縫っている途中で糸が切れたとき

1. すぐに縫いを中止して、布地をはずします。
2. 切れた糸をかけなおします。
3. 押えを上げ、布地をその下に入れます。  
すでに縫われた縫い目の上を2~3cm重ねて縫います。



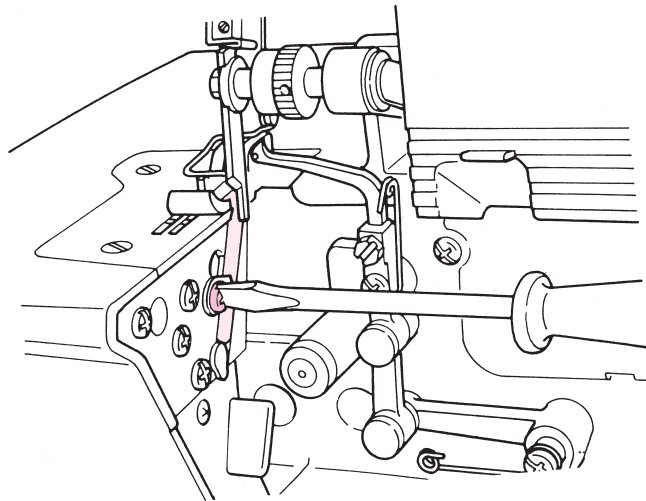
### ■上メスの交換

上メスは特殊超硬材を使用していますので、普通は交換する必要はありませんが、刃先がかけたとき交換します。  
そのときはお買い上げいただきました販売店にご相談ください。

### ■下メスの交換

**注意** 下メスの交換のときは  
必ず電源を切ってください。

1. はずみ車を手前に回し、針を一番上にします。
2. 上メスを解除します。
3. ドライバーで下メス固定ネジをゆるめ、下メスをとりはずします。
4. 新品(別売)の下メスを下メスホルダーの溝に入れ、下メスを上下調節器にあてます。  
(下メスの刃先が針板上面と同じ高さになります)
5. 最後に下メス固定ネジを強くしめて、固定します。

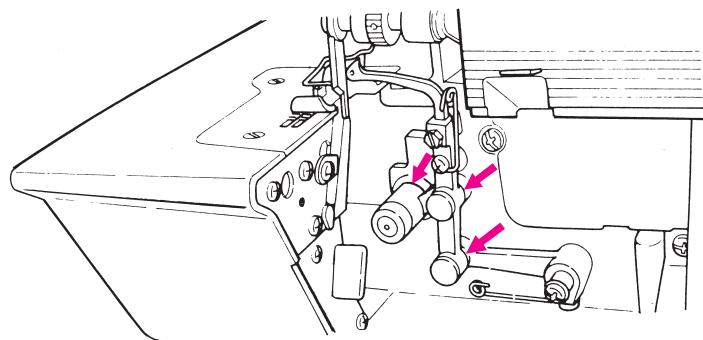


### ■掃除と注油

**注意** 掃除や注油のときは  
必ず電源を切ってください。

ミシンをご使用になりますと、綿ぼこりがたまりますので定期的にとり除きます。

このミシンには重要な部分に特殊材料を使用していますが、ご使用前に図示したところへミシン油を1~2滴さしてください。



#### 注意：

- ・炎症、かぶれを防ぐため目や身体に油が付着したときは直ちに洗浄してください。
- ・下痢、嘔吐を防ぐため誤って飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・子供の手の届かないところに置いてください。
- ・油の廃棄は法令で義務付けられていますので、それに従い適正に廃棄してください。

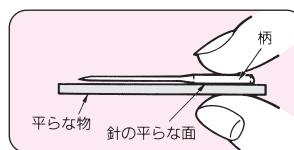
### ■針について

この小型ロックミシンの針は家庭用ミシン針を使います。

針の種類	針の太さ	用途
HA×1	11番	標準(薄物、普通物用)
	14番	厚物用

※お買い求めの際は、このタイプの針をご指定ください。

### ■針の調べ方



すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。  
針先が曲ったり、つぶれているものは使わないでください。

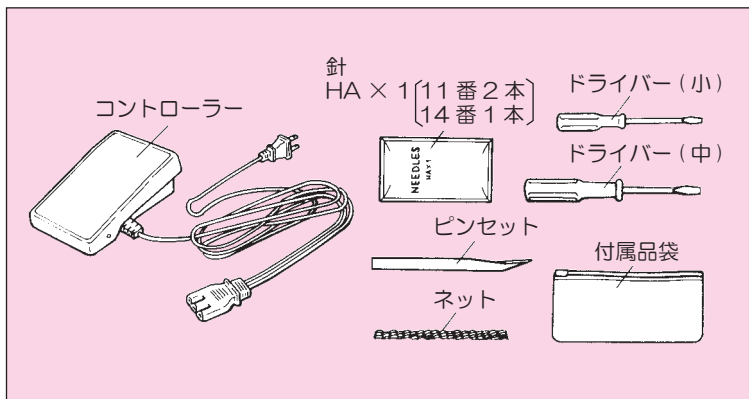
## ■サービスをお申し付けになる前に

次のような場合は故障ではありません。サービスをお申し付けになる前にもう一度確かめてください。

現象	原因（理由）	処置方法	ページ
布地を送らない場合	①押えの圧力が弱すぎる時。	・押え調節ネジを右へ回し、押え圧を強くします。	6
針が折れる場合	①糸のかけ方がまちがっている時。	・新しい針にとりかえます。	8
	②針のとりつけが悪い時。	・正しくとりつけます。	6
	③布地を無理にひっぱった時。	・縫っているときは布端に手をそえるだけにします。	--
糸が切れる場合	①糸のかけ方がまちがっている時。	・正しくかけなおします。	7
	②糸調子が強すぎる時。	・糸調子を弱くします。	7
	③針のとりつけ方が悪い時。	・正しくとりつけます。	6
目とびがする場合	①針が曲っていたり、針先がつぶれている時。	・新しい針にとりかえます。	8
	②針のとりつけ方が不完全な時。	・正しくとりつけます。	6
	③糸のかけ方がまちがっている時。	・正しくかけなおします。	7
縫い目の調子が悪い場合	①糸調子が不完全な時。	・正しい糸調子になおします。	7
縫いしわがよる場合	①針糸調子が強すぎる時。	・針糸調子ダイヤルの目盛を小さい方へ合わせます。	7
	②糸のかけ方がまちがっていたり、必要以外の場所に糸がからんでいる時。	・正しくかけなおします。	7
モーターの故障	①雑音がある。 ②モーターが全然回らない。 ③火花が異常に大きい。	} カーボンブラシを交換します。 (注) カーボンブラシの交換はお買い上げの販売店に依頼してください。	--

※上記の方法でも直らないときは、お買い上げ販売店にご相談ください。

## ■付属品

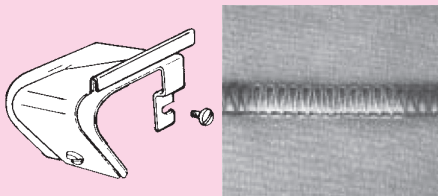


## ■仕様表

項目	仕様
使用糸数	2本
使用針	HA × 1、11番、14番
かがり幅	3.5 mm
縫い目長さ（送り量）	1 ~ 4mm（標準送り量 2.5mm）
押え上げ量	4mm
縫い速度	最大 1,500 針 / 分
ミシンの大きさ	幅 270 × 奥行 250 × 高さ 285mm
重量	6.3kg
消費電力	MO-522N ミシン本体 100V/90W
定格周波数	50/60Hz

## ■別売付属品

- ・飾り縫いガイド
- ・ルーパー糸に飾り糸（レインポー糸など）を使用することにより布地上に美しい飾りステッチができます。





## ■アフターサービスと保証

- このミシンには保証書がついています。
- 保証書は、お買い上げのお店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。  
(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- このミシンは日本国内専用機種ですので、海外でのご使用はできません。また、海外での保証、アフターサービスは受けることができません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げのお店にご相談ください。  
当社は、このミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り時点から最低8年間保有しています。

# JUKI

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧2-11-1

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、お買い上げのお店、または下記のお客様相談室へお問い合わせください。

フリーダイヤル

☎0120-677-601

年末年始・夏季休暇・祝祭日を除く

平日(月～金) 9:00～12:00、13:00～17:00

Copyright © 2020-2023 JUKI CORPORATION  
本書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。

購入店名 後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼されるときお役に立ちます。

電話 (       -       -       )  
購入年月日：       年       月       日